

## 園長先生の一言

翔鸞幼稚園のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

翔鸞幼稚園は、来年度、創立130周年を迎えます。長い歴史の中で、保育にかける思いは、変わらずあるのだと思います。これは、公立幼稚園の子どもの成長発達を考えながら、人格形成の基礎になることや自立していくまでの基礎になる生活習慣を身につけていくように保育を実践しています。

子どもに寄り添い、安心・安全な人的物的環境で、のびのびと育てています。

園長になる前は、12年間公立小学校の校長でした。毎年、入学する子どもの保護者には、「平仮名は、自分の名前が読めればよい」「鉛筆よりも正しいお箸の持ち方を身につけさせてほしい」「挨拶のできる子、遊ぶことが大好きな子が多い」と言ってきました。今まで言ってきたことは間違いないと幼稚園に来て確信しています。

就学前施設でこんなにも丁寧に、大きな声を荒げて怒ることなく、きちんと話を聞いて、子どもの立場になって、また保護者の気持ちになって育ってきた子どもたちを小学校は引き継いでいたのだということを改めて知りました。



平仮名は一年生で一から教えます。計算も同様。鍵盤ハーモニカもそう。英語に親しむこともそう。組体操は、6年生になったときの感動。小学校で新しく習うことに興味をもって意欲につながる、「分かるっておもしろい」とみんなで共感できます。先々知っていることで学校での授業がつまらないものになると大変。

公立幼稚園は通園バスはありません。徒歩か自転車で送り迎えになります。一日に2回保護者と話ができるのです。「今日、パンツデビューでしたよ」「竹馬に乗れるようになりましたよ」「ちょっとお友達ともめてねえ」などその日の様子をお話しきることも素晴らしいことです。園と家庭と一緒にになって育てている良さがあります。